

京都市立芸術大学音楽学部同窓会

真声会 会報 第76号

2023年5月1日

新しい景色

真声会会長 登博美(20期・トロンボーン)

桜(ソメイヨシノ)が満開となった今年の京都市内は大勢の観光客で賑わっていました。京都の観光業界にとって、春は秋の紅葉シーズンと並ぶ書き入れ時ですが、一昨年、昨年といずれも3月下旬まで国内に新型コロナウイルス対応の緊急事態宣言が発令されたり、まん延防止等重点措置が適用されたりしていたため、観光客の出足は激減していました。

しかし今年は様相が一変しました。コロナ対応の行動制限が全くなかったうえ、3月13日からはマスク着用が個人の判断に委ねられるなど「緩和ムード」となっており、ウィズコロナからアフターコロナへと様変わりしてきています。この3年間気のせいか寂しげだった桜もようやく咲き誇った姿を見せてくれます。

3月に開催されたWBC2023において侍ジャパンは圧倒的な強さで見事世界の頂点に立ち、日本中を感動と興奮の渦に巻き込みました。中でも大谷翔平選手の活躍と人気は群を抜いており、オーストラリア戦での初ホームランで、しばらく自身の打球を見つめていたことについて「久々にいい打球を打てて、いい景色だったと思う。」と明かしていました。

これも記憶に新しい昨年のサッカーワールドカップで日本が強敵スペインに歴史的勝利を収め、決勝トーナメント進出を決めた直後に、森保一監督はその気持ちを「選手たちが新しい景色を見せてくれた。」と表現していました。

京都市立芸術大学の新キャンパスは本年10月1日にJR京都駅東地区へ移転されることが決まり、建設工事も急ピッチで進められています。敷地南に面するJR線からも外観がみとめられるようになり、大学名の看板も大きく見えています。

この新キャンパス開校と文化庁の京都移転を記念して、京都コンサートホールが主催するクラシック音楽のイベントが、今年4月から市内の寺社や観光施設など12か所で行われます。京都芸大音楽学部の学生やOBの演奏家を中心に、総勢約300人が四季の名所で主に室内楽の生演奏を繰り広げ、芸術文化と観光振興の相乗効果を図るとしています。このコンサートの一部を企画し、出演予定の大嶋義実京都芸大教授は「世界の有名な都市は古来、音楽芸術で住民を幸せにしてきた。」と述べておられます。

新キャンパス移転を契機に、「テラスのような大学」京都芸大が地域に開かれ多様な人々と交差し、交流を深める中で新たな芸術創造と研究の拠点として、建物のみならず内からも外からも新しい景色を見せてくれることを期待しています。

最後になりましたが、今回の真声会役員の改選により6名の役員が退任いたします。任期の満了は6月の総会までとなっていますが、任期の長短はあるもののこれまで本会のために多大なご尽力いただきましたことに対して改めてお礼申し上げます。

会長挨拶	1	各支部活動報告	8
真声会賞報告・受賞者レポート	2	コンクール等受賞者	10
役員の選挙のご報告	4	後援演奏会情報	11
退任挨拶	4	真声会活動報告・総会案内・お悔やみ	14
卒業式・入学式の報告	6	アートオークション2023 報告	15
京芸だより	7	ありがとう沓掛キャンパスイベントについて	15

第7回 真声会賞は 永井清二郎さん(打楽器専攻)が受賞

真声会事務局長 佐藤 敏子(17期・声楽)

令和4年度卒業式において卒業生の永井清二郎さんに、真声会賞並びに副賞を授与いたしました。卒業生の中から、実技のみならず一般教養全てを含む成績優秀な方を、真声会学内委員の先生方に選考していただいて、今回はヴァイオリン専攻、打楽器専攻、音楽学専攻の3名が推薦されました。その後、それぞれの任意のレポートを提出していただき、真声会理事会において慎重に選考を行いました。

卒業生の皆さんは、コロナ禍の学生生活を経験され大変な思いで卒業されました。レポートはいずれも甲乙つけがたいものでした。その中でも、永井清二郎さんのレポートは大変ユニークな構成で、素晴らしいものでした。

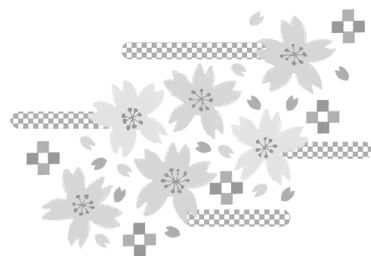
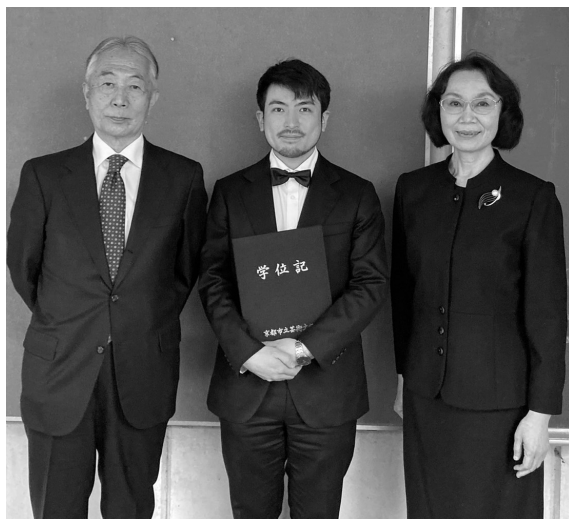
真声会賞の選考にあたりまして、京芸事務局、学内委員の先生方のご協力に厚くお礼申し上げます。

卒業生の皆様には、今後それぞれの道を歩まれると思いますが、どんな時にも、勇気と希望をもってご活躍されます事をお祈り申し上げます。

真声会賞受賞者よりメッセージ



この度は栄誉ある賞を賜り、恐悦至極に存じます。
かけがえの無い沓掛での思い出はやがて己の血となり肉となり、内なる精神は涵養され、人生哲学の礎となりました。一風変わった表現となりましたが、ご拝読いただければ幸いです。
良き師、良き友に恵まれ、学部時代を謳歌できましたことを心より感謝申し上げますとともに、真声会会員の皆様の益々のご活躍とご多幸を祈念いたしております。



真声会賞受賞者レポート

門出

永井 晴二郎 (68 期・打楽器)

今の正直な自分の気持ちを伝えたい。しかし、なんだか気恥ずかしい。苦肉の策ではあるが、卒業する私へ別次元にいる二人の私からの^{はなむけ}饞の言葉を借りて記してみたい。

入学した頃の私から、卒業する君へ

まずは、この四年間様々な艱難辛苦を乗り越え、胸を張って杓掛を離れんとする君に惜しめない賛辞を呈したい。君は立派に交換留学、研究会の設立、教員免許状の取得、首席卒業など多くを成し遂げた。一方、今の私はこれから何をすべきか分らない。思い描いていた大学生活はここにはない。白熱教室のごとく同志と音楽や芸術について自由闊達に議論を上下するとは夢のまた夢。吹奏楽部の延長かのような毎日から早く脱したいものだ。講義も稽古と同様に重要だと大人は口にするが、それが何になる。楽器の上達こそ最優先だと思い、演奏技術の習得に執着するも評価はされない。鼻は折られ、将来に不安は募るばかり。芸術性が云々と言われても可視化される訳でもなく、混乱を極める一方だ。教えてくれ。如何にして学んでゆくべきなのか。四年間の履修計画も立てて最大限の講義を履修している。図書館では作曲家についての書を読み漁り、基礎練習も怠っていない。何故、報われないのか。

それでも私は平凡な日々に甘んじるを潔しとせず、地道な努力を弛みなく続けるとしよう。今の私に答えは見つからないが、意志あるところに道は開けると信じて貪欲に挑戦しながら生きていくことにするよ。そうやって、君すなわち未来の私が華やかに門出を迎えられたことを心から祝福するよ。

未来の私から、卒業する君へ

卒業おめでとう。入学したての迷える君も、腐らず勉学を続けた結果、納得の四年間を過ごすことができたね。当時の君は自分の置かれた環境の悪さをただ嘆き、先達の言葉の真意に達することも叶わず、それでも何かを掴みたい一心で黙々と修行に励んだ。そして臆ながらも先達の言わんとすることを理解できるようになった後の成長は目を見張るものがあつた。そして今の君は知る。それが大学の定めるディプロマポリシーにしっかり明記されていたこと、大人たちの言わんとしたことを。

「幅広い教養を有し、それらを社会に対して創造的に発信し、芸術文化に寄与できる能力の習得」

この漠然とした課題に対し、どう考えどう行動するか模索し、研鑽を積む。それこそが四年間に課せられた責務であり、大学での学びというものは探究し続けることに他ならない。

芸術大学にて学びを修めた者として、芸術文化に寄与貢献するためには、身に付けた教養なり技術なりを芸術に昇華し、社会に対しての発信は不可避であり、そうした観点のなき技術の習得は不毛であり求められていない。そう認識できたことで、君は自らの世界観を積極的かつ創造的に表現していくことを躊躇しては本来の学びとはいえないと意識を変えることができた。

学部生での交換留学への挑戦や現代音楽研究会の旗揚げ、芸大祭での有志展、打楽器専攻によるアンサンブルコンサートでは既存の枠にとらわれない圧倒的スケールの演奏会への挑戦。入学当初は引込み思案で、人とぶつかるのを避けんと内に秘めた熱いものをひたすら隠し、表現することを極度にためらった君が、自発的、積極的に活動の幅を広げ充実した学生生活を全うできたのも、単なる演奏技術に留まらず幅広い教養の修得をないがしろにしなかったこと、またその自負の賜物と言わざるを得ない。

同時にそれは音楽に限らず、社会に貢献できる学士力たるものも未だ発展途上とはいえそれなりに培われたとの自負を手に入れた。そんな君は交換留学中も語学学校や寮のイベント、近隣の総合大学等、音楽大学以外のコミュニティに積極的に参加し、異分野の人と交流することで、知識はさらに広がり、政治や歴史、文化、さまざまなことについて議論を上下する友人にも巡り会えた。

今、君は一大海へと漕ぎ出だす。ドイツでの大学院生としてのこれからは、学生とはいえモラトリウムを言い訳に勉学のみに専心する訳にはいかない。就業を見据えたアクションをどんどん計画実行していかないと、瞬く間に就学期間は終わりを迎えてしまう。そう、何もしないで済めば修了なんてことになりかねない。

プロの音楽家たる技術に基づく創造力、説得力に加え、社会に対して芸術文化に寄与する対価としての報酬を得られる活動ができるようにならねば持続的な音楽活動は不可能であり、それは君の生涯を通して普遍である。さりとして対価を追求するあまり社会に迎合してしまえば、それはもはや芸術とは呼べず、君は未来永劫、音楽活動における芸術とはなにか、芸術と呼べる音楽活動とはどうあるべきかを模索し続けることとなろう。同時に社会に広く知見を求め続けることは今を疑うことと不可分であり、その姿勢こそがオリジナリティに溢れた、芸術家・永井晴二郎を作り出すということを肝に銘じて欲しい。

さあ登って来い！私のところまで。

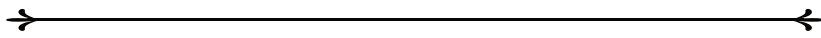
🎵 役員選挙のご報告

選挙管理委員会委員長 長谷川 智子(43期・作曲)

4年に一度の真声会本部役員選挙が行われました。選挙管理委員には、水野雅子さん(26期・ピアノ)、古川葵さん(58期・ヴァイオリン)、山原さくらさん(63期・声楽)にお願いしました。

11月発送の会報に、選挙案内、被選挙人名簿、投票ハガキを同封し、投票をお願いしました。70通返信があり、1月4日に大学内にて、厳正なる開票作業を行いました。2票以上が47名、1票が128名の、総数175名に投票があり、その結果を理事会に報告しました。投票数が少なかったのは、とても気になる所です。

結果を受け、総会にて、役割分担を含めて具体的に提案され、審議のうえ、新しいスタートが切られます。今回の改選に係わり御協力頂いた皆さんに感謝致します。ありがとうございました。



🎵 役員退任のご挨拶

会長 登博美(20期・トロンボーン)

初めての会長として無事総会を終えた直後、旧京都造形芸術大学の名称変更差止訴訟と和解、そして翌年の新型コロナウイルス感染症のパンデミックなど大きな変化の波が押し寄せた4年間でありました。

この間、改めて大学同窓会が果たすべき役割の重要性とともに、その半面活動の限界を痛感いたしました。

今年10月に母校京芸は移転します。会員の皆様にはこれまで以上に様々な形でのご支援、ご参画をいただきますようお願いを申し上げ退任のご挨拶といたします。

副会長 山本 千壽(17期・ピアノ)

両親を送って、何かお役に立てればと、真声会役員をお受けして、4年×4回に、なりました。会議に出席する事に意義があるという、安易な考えでおりました。時が経つにつれ、音楽学部同窓会として、何が出来るのか?という、難問にぶつかりました。真声会賞が出来たのは、良かったことの一つです。個人的には、副会長という名のもとに、沓掛学舎講堂での卒業式、入学式に参列させて頂き、沓掛学舎への想いが、生まれたようです。機械に弱い私ですが、何かお役に立てていれば、幸いです。本当に、長い間、お世話になりました。まだまだ問題は、山積みです。新役員の方々のご健闘を、お祈りいたします。

副会長 樋上 由紀(19期・ピアノ)

この4年の間にはコロナの感染が始まり、会議も中々難しい時期がありましたが、それでも色々な議題が前に進むことが出来たのは、登会長をはじめ他の理事の方々のお力の結集の賜物と感じております。又美術学部の同窓会「象の会」との協力体制が実り、今年初めに開催されました「アートオークション」では音楽学部としては初めての試みで、出張演奏会の落札を2組受けることが出来ました。これは今後固定観念にとらわれず、演奏が色んな形で提供出来る可能性を感じる機会となりました。

今年の秋には京都芸大はいよいよ沓掛から京都駅東の崇仁地区へと移転致します。7月1日の創立記念日には沓掛の校舎とのお別れイベントも企画されています。多くの会員の皆様のご参加を期待しつつ、無事に任期を終えられることを心より感謝いたします。

専務理事 杉中 博(19期・トランペット)

教職を退職した年から12年。理事・監査役・専務理事として本部役員を経験させていただきました。この12年、会則改正をはじめ、会の有り様は持続可能な存在意義の認められる同窓会として大きく変化を遂げたと思います。

本年は大学移転が予定されています。さらなるバックアップが望まれます。さらに2年後の真声会70周年が盛大に祝われますことを願って、退任のあいさつといたします。

事務局長 佐藤 敏子（17 期・声楽）

事務局長をさせていただいておりました。コロナ禍で総会が中止になったり 会員の交流も途絶え 大変な時期でしたが やっと明かりが見えて来たようです。今年は移転もあり 新しい大学の姿が楽しみです。これから大学と真声会の発展のために 会員皆様のご協力をお願いいたします。

理事 阿部 千鶴（17 期・ピアノ）

4 年前に真声会の理事に就任させていただいた当時は、正直真声会がどのような形で運営されているのか知りませんでした。理事会において、先輩方が様々な議題に向き合い、意見を出し合い、最善の結論を導いていかれるのをただ感心して見ていただけでした。困難な問題に対しても一生懸命議論を重ねられる姿勢を拝見し、皆様の母校を思う気持ちが深い事を感じました。この貴重な経験をもとに、今後は自身も母校に少しでも役に立つ事ができればと思っています。あっという間の 4 年間でしたが、温かいメンバーの中で多くを学ばせていただいた事を心から感謝しています。今まで有難うございました。

理事 山本 毅（24 期・打楽器）

皆様のお支えの中、昨年は京芸を定年退職し、今年は真声会理事の務めを終えることができました。感謝でいっぱいです。思えば、真声会の役員を初めて務めさせていただいたのが 35 歳のころだったと思います。そのころは藤井園子先生が会長、奥道子さんが副会長でしたが、実働部隊はほぼ 30 台 40 台の若手だったと思います。そのあと大村益雄先生の時代を経て、今期は学生時代の憧れの先輩だった登博美会長、樋上由紀副会長の下で務めさせていただきました。三者三様のそれぞれ個性的ですばらしいリーダーシップの下で役員を務めることができ、京芸の教員として内部から、真声会の役員として同窓生目線から、いわば二つの視点から京芸音楽学部を長年にわたって見てくることができたことは得難い経験だったのではないかなと思っています。今後も京芸の成長と発展を願いつつ、京芸と真声会を見守っていくことができたと願っています。 移転、楽しみだなあ。

理事・事務局 中村 公俊（51 期・ヴァイオリン）

大学の名称裁判では、初めて傍聴を経験しました。事務局をやっていなければ一生しなかったであろう、大変貴重な経験でした。大学や美術学部「象の会」と合同での事業が多くなり、さまざまな方とお会いし、お話することも、良い経験となりました。事務局を暖かく、信頼して見守って下さった皆さま、ありがとうございました。

理事 小松 淳史（56 期・作曲）

2 期 8 年の間、理事を務めさせていただきました。組織に貢献できた、と胸を張って言えることは少ないのですが、理事として真声会に携わることをきっかけに出会った方もいて、それは私にとってとても貴重なことでした。ありがとうございました。音大生、そして音大卒業生を取り巻く環境は日々変化しておりますが、この同窓会は音楽を通じ、世代をこえて人と人を繋いでいく、そんな組織であり続けてほしいです。2 年後には創立 70 周年を迎え、さらなる発展を遂げていく真声会を陰ながら応援するとともに、何か機会があれば、またお手伝いさせていただきたいと思います。

監査役 朴 実（12 期・作曲）

今期で 3 期 12 年間勤めてまいりました真声会役員を退任することになりました。真声会がどのような団体であるか何もわからない私に、当時の大村会長から突然役員に入るようにと言われ、いきなり編集委員長（当時）に就きました。真っ先に取り組んだのは、今の時代では到底考えられない、全会員の個人情報に記載されている「真声会名簿」の発行でした。結局この 2012 年版が「名簿」発行の最後となりました。最も思い出に残るのは、真声会 60 周年記念事業として、1 期から 64 期までの全年度にわたって各年度委員に書いてもらった記念誌「思い出」の発行でした。これは真声会の貴重な記録になることでしょう。今年 10 月には、京芸が JR 京都駅東側に移転して来ます。自宅から 5 分もたたないところに建設中の音楽ホールがあり、後輩たちの演奏が毎日聴けると思うと、今から胸躍らせる日々が続いています。みな様これまでご協力くださり、ありがとうございました。

監査役 笹 まり恵（54 期・ピアノ）

4 年間、監査を務めさせて頂きました。会員の皆様から集めた会費を如何に有効に還元するか、時代のニーズに合わせた変化も必要とされ、その度に理事会にて議論がなされました。若輩者の私には勉強させて頂く事が沢山あり、大変貴重な機会を頂きました。度々理事会を欠席する事もありましたが、理事の皆様には温かくフォローして頂きありがとうございました。これからも真声会の益々の発展をお祈り申し上げます。

卒業式に参列して

真声会理事 樋上 由紀(19期・ピアノ)

今年の卒業式当日はあいにくの曇り空から雨になりましたが、早くも咲き出した淡いピンク色の桜の花が、卒業式を祝しているようでした。昨年はコロナ禍で学部卒業式と修士卒業式の2部制を取られていましたが、今年はコロナ以前の通り卒業生全員がそろっての卒業式となりました。来賓も壇上での参列となりました(保護者の方々にはライブ配信をされていました)。

学位証の授与の後、赤松玉女学長の式辞があり、今年秋に京都芸大は京都駅東部、崇仁地域に移転することから、この卒業式がこの地では最後となること。一人一人の卒業後の活動がそれぞれの個性を生かした創造活動となるよう願っておられること等を語られ、卒業生にエールを送られていました。

来賓の市長御挨拶では、後数日で文化庁の移転となること。明治以降、政府の主要機関が京都に戻ってくるのは初めてであり、今後京都市と共に文化芸術を世界に発信する為の構想があること。その為に京都市立芸術大学の卒業生の役割はとて大々になること等をお話し頂きました。そして京都市立芸術大学は京都の宝であること。これは取りも直さず卒業生の皆さんが宝であることのご祝辞を頂きました。

また、卒業式恒例の美術学部の着ぐるみや、自作の奇抜なコスチュームで笑いを誘う一コマがありましたが、音楽学部も今年度真声会賞を受賞された永井晴太郎君の証書授与の時には、彼が率いる管打学専攻の卒業生によるサンバの生演奏があり、リズムに乗って行進するというデモンストレーションは、参列者の手拍子を受けて盛り上がり、芸大ならではの卒業式となりました。

沓掛の京芸を巣立たれる卒業生の皆さんの、今後のご活躍を心からお祈り申し上げます。



入学式に参列して

真声会副会長 山本 千壽(17期・ピアノ)

先日の雨で、木々は美しく芽吹き、遅咲きの桜と花水木が街に咲きほこる令和5年4月10日、晴天の下、沓掛学舎講堂で京都市立芸術大学の入学式が行われました。数年来、新型コロナウイルス感染症対策下で行われた式でしたが、今年度は、美術学部・音楽学部並びに大学院美術研究科・音楽研究科の新入生と、ご来賓、大学教職員の参列という本来の(?)形になったようです。でも、ご家族の方々は、別室で残念だったかも知れません。マスクは、個人判断なのでしょうが、多くは顔の見えないマスク姿でした。会場には、モーツァルトのディベルティメントが奏でられる中、手指消毒して、新入生が入場しました。次に、音楽学部阪哲朗教授指揮で、歓迎演奏がありました。荘厳な雰囲気の中、音楽学部新入生64名、大学院音楽研究科修士課程23名、博士課程1名の名前が読み上げられ、入学を実感したのではないかと思います。

緊張の顔の新入生の宣誓があり、赤松学長の式辞、門川市長の式辞と続きました。式辞は、京都芸大ホーム



ページでご覧いただければと思います。今年の新入生は、新型コロナウイルス禍の高校生活を過ごし、入学すぐに京都駅東の崇仁地域への移転へと、目まぐるしい変化が待っています。自分を見失う事なく、多くの人と接して、意義ある大学生活を送ってほしいものです。これからのご健闘をお祈りいたします。若い沢山の顔を見て、数十年前の、岡崎学舎でのこじんまりした入学式を、ふと懐かしく思い出しました。

京芸だより

◎ご挨拶

京都市立芸術大学はついに今年度 10 月、京都駅東部エリア（崇仁地区）に全面移転します。真声会の皆様におかれましては教育環境を充実させるための多大なご寄付やサポートをいただきまして、深く心より感謝御礼申し上げます。

私は昨年度より大学院音楽研究科長の大任を務めさせて頂いておりますが、1988 年（昭和 63 年）京都芸大第 33 期卒業生です。

昨年度末の後期実技試験でピアノ伴奏法の採点をされていた先生から定年退職のご挨拶を頂きました。その先生は 25 歳の時に京都芸大に着任され、最初にご担当頂いたのが我々の学年だったと伺いました。ちなみに私も副科ピアノでお世話になりました。ご着任当初は個性の強い学生たちにどう接して良いのか分からず毎晩泣いていたとお聞きしました。しかし私の記憶では、新入生として初めて経験する専攻実技のレッスンや室内楽、オーケストラの譜読み、もちろん一般教養の授業の間に副科ピアノの練習をするという、想像を絶するスケジュールで泣きたいぐらいの学生生活でした。

そういったとても充実した学生生活が 2020 年春からの新型コロナウイルス蔓延により突如奪われてしまいました。コロナ禍ではリモート授業が推奨されその利便性にも気付かされました。しかし現在は人と人のふれあいや会話、リアルな演奏会の大切さを再認識する時が来たのではないのでしょうか。

京都芸大キャンパス移転も建物や物資だけでなく、学生と教職員のこぞつての移転になります。1952 年に全国初の公立音楽大学として設置された本学の基となる当時の京都市立音楽短期大学開学の趣旨には「京都市が市民の音楽熱の熾烈なる実状に鑑み、名実ともに国際文化観光都市にふさわしい教養ある社会人としての音楽芸術家を育成せんがため」とうたわれています。この理念もキャンパス移転に際して引き継いでいくのが我々の責務であり必須であると気を引き締めております。

今後とも真声会の皆様には引き続きご指導、ご鞭撻を頂きつつ、変わらぬ京都芸大とその学生へのご支援をお願い致します。

京都市立芸術大学大学院研究科長 村上哲

◎人事異動のお知らせ

・ご退任（2023 年 3 月 31 日）
指揮専攻 下野竜也 先生
ピアノ専攻 阿部裕之 先生
弦楽専攻 四方恭子 先生
音楽学専攻 津崎 実 先生

・ご着任（2023 年 4 月 1 日）
指揮専攻 阪 哲朗 先生
ピアノ専攻 高木竜馬 先生
弦楽専攻 戸上眞里 先生
音楽学専攻 正田 悠 先生

◎演奏会のご案内 ※実施方法や内容が変更となる場合がありますので、事前にご確認ください。

クロックタワーコンサート ※申込は終了しました。

5 月 21 日（日）開場 14:00 / 開演 15:00 京都大学百周年時計台記念館
担当：指揮専攻、中田延亮先生

ウエスティ音暦 1

6 月 3 日（土）開場 13:30 / 開演 14:00 京都市西文化会館ウエスティ
担当：管・打楽専攻

第 37 回 ピアノフェスティバル 事前申込制

6 月 11 日（日）開場 13:30 / 開演 14:30（予定） 京都府立府民ホール“アルティ”

四方教授退任記念コンサート 事前申込制

6 月 16 日（金）開場 18:30 / 開演 19:00 京都府立府民ホール“アルティ”

ホワイエコンサート

6 月 24 日（土）開演 16:30 京都国立近代美術館
担当：作曲専攻 進行：岡田加津子先生

第 171 回 定期演奏会

7 月 10 日（月）開場 18:00 / 開演 19:00（予定）

京都コンサートホール 大ホール

指揮：下野竜也客員先生

曲目：F. メンデルスゾーン・バルトルディ／交響曲第 5 番 ニ短調〈宗教改革〉

A. ジョリヴェ／ファゴット、弦楽、ハープ、ピアノのための協奏曲

A. ペルト／カントウスーベンジャミン・ブリテンへの追悼歌

B. ブリテン／シンフォニア・ダ・レクイエム 作品 20

オーケストラ協演の夕べ

11 月 2 日（木）開場・開演時間未定

堀場信吉記念ホール

指揮：阪哲朗先生

文化会館コンサート I

11 月 15 日（水）開場 18:30 / 開演 19:00（予定）

京都市北文化会館

担当：管・打楽専攻

ホワイエコンサート 2

11 月 18 日（土）開演 16:30（予定）

京都国立近代美術館

担当：声楽専攻 進行：北村敏則准先生

阿部教授退任記念コンサート

11 月 23 日（木・祝）開場 13:30 / 開演 14:00（予定）

京都府立府民ホール“アルティ”

ウエスティ音暦 2

11 月 25 日（土）開場 13:30 / 開演 14:00（予定）

京都市西文化会館ウエスティ

担当：弦楽専攻

7 月の定期演奏会は、無料で御入場いただけます。
入口前の真声会受付にて御記帳をお願いします。



各支部活動報告

大阪支部 <http://senri-music.com/shinseikai-osaka/>「真声会大阪支部」でアクセス可

閉塞した日々からようやく解放されて、マスクを外したり、コロナも5類に移行するなど待ち侚っていた普通の日常が戻ってきつつあります。3月末に会報120号(3月25日)を発行いたしました。気持ち新たに今号より総会出欠返信にGoogleフォームを作成したり、会費納入にネットバンキングを可能にするなど若い世代がアクセスしやすいように新しい試みを取り入れてみました。6月4日には支部総会、8月26日には昨年に引き続いて三田市郷の音ホール・アクトスクエアにてプロムナードコンサート開催を予定しております。昨年好評であったことに望みを託して、今後、できればより多くの会員の方々により多くの場所での演奏の機会を広げるために、地域に根ざしたコンサートを各地で行っていければと試行錯誤しているところです。生の音楽を共有する喜びを地域の人たちと分かち合いながら再び活気を取り戻していきたいと願っております。

事務局 e-mail<h.higuchi@kinran.ed.jp(樋口博行)>

副支部長 大富 栄里子(28期・ピアノ)

関東支部

真声会会員の皆さま、お元気にお過ごしのこととお喜び申し上げます。令和4年度、関東支部でのトピックスは3年振りに定期演奏会を開催した事。10月1日の土曜日、町田市鶴川にある和光大学ポプリホールにて、元木いずみ(32pf). 蒲原尚美(36vo). 高橋知子(32pf). 飯星広子(32&院3vo). 小早川玲子(39vn). 嶋村純子(36vo). 丸山慶子(30pf). 奥田章子(32pf). 手島由紀子(30&院1vo)~敬称略~の皆さまにご出演頂き、104名のお客様にご来場頂きました。生の音を対面で直接お客様に聴いて頂ける喜びを再認識した次第です。その他、4月には議案の郵送と返信ハガキによる総会を開催し、全ての議案は承認されました。また、8月には会報誌「Harmony」を発行。京芸創立70周年、新キャンパス移転に関する記事などを掲載し、小林和子さん(4vo). 田中伊知子さん(31cl)からも寄稿を頂きました。この本部会報がお手元に届く頃、関東支部は今年度の総会を対面で開催いたします。総会後は初めて試みとしてお若い会員さまにミニコンサートとして演奏して頂く他、懇親会も予定しております。コロナの状況が益々改善する事を願うばかりです。引き続き気をつけてお過ごしくださいませ。

支部長 宇野 徹哉(28期・声楽)

京都支部

2022年度、コロナ禍3年目を迎える中、状況の変化を見ながら少しずつ活動を再開してきました。9月には延期していた第37回プロムナードコンサートを3年ぶりに再開することができました。その後1月に第4回の役員会を開催し、次年度支部総会や新卒者への京都支部への入会案内、第38回プロムナードコンサートなどについて確認をする中で、いよいよ本年10月の新学舎開校に合わせた企画がなにかできないだろうかと意見交流を進めてきました。そこで5月21日に予定している第33回京都支部総会を大学で開催できないかという話となり、関係各所への連絡を重ねる中で大学での支部総会実施に向け準備を進めてきました。総会後の恒例の講演は、これまで長年にわたり後進の指導にあたってくれた阿部裕之先生にお話しいただけることになりました。また、第38回プロムナードコンサートを9月30日(土)、府民ホールアルティを会場に開催予定です。5類相当となりコロナによる規制が緩和されてきたとはいえ、これまで同様今後のコロナ等感染症の状況を見ながら実施していくことになります。

連絡先/宮崎友香子(38期・ピアノ) TEL & FAX 0774-93-3957 PC y.miyazaki.ykk@gmail.com

支部長 寒川 正晴(30期・ホルン)

滋賀支部

大津の音楽団体有志が「音楽でウクライナの子供たちに未来を」プロジェクトを立ち上げ呼びかけたところ、一部から「政治的な活動には参加できない」との声があったと聞きました。このプロジェクトは国連の組織である「ユニセフ」を介しての取り組みでもあり、また独立した組織である国際刑事裁判所はウクライナの子供たちの連れ去りは戦争犯罪にあたるとして告発しています。そして何より日本国はウクライナ支援を謳っています。人道支援が政治的な立ち位置を超えられないのは残念なことです。それでも、音楽を通してできることはないかと模索することは大事なことと思います。

さて滋賀支部も総会を 6 月 18 日 14 時よりレストラン・ヴェルツブルクにて開催します。支部演奏会第 35 回「湖のしらべ」は 12 月 10 日（日）びわ湖ホール小ホールで 14 時より開催予定です。新役員も交え、演奏会の企画を練っていきたいと思います。

滋賀支部事務局 井出 悟 TEL & FAX 077-579-2171 大津市日吉台 3-32-1

支部長 杉中 博（19 期・トランペット）

中部支部

2 月 5 日（日）ドルチェ・アートホール Nagoya にて「音に集う会 Vol. 6」を開催しました。「4 年ぶり」というのは今日日珍しくない話とはいえ、やはり感慨無量です。出演者は、作品発表の村上栄子（31 期作）と、富久田治彦（31 期院 1 Fl）、竹野有紀（49 期 P）、林美咲（61 期院 32 P）、井葉野晃暢（65 期 Tp）の 5 名。演奏会実行委員長（青木美沙季 60 期院 29 声）は裏方に徹し、幅広い年代の出演者、久しぶりの開催をうまくまとめました。会場には楽器を習っているらしい中学生、高校生の初々しい姿がチラホラ。「京芸」が彼らの目に憧れと写っているならうれしいことです。東京や奈良など遠方からの来場者もあり、懐かしい話に花が咲く同窓会らしい光景を見ながら、ようやくコロナ禍が抜けたことを実感し、安堵しました。

今年度の支部総会は 5 月 28 日（日）14 時 30 分から名古屋市音楽プラザ第 1 控室にて行います。伸び伸びと活動ができなかった期間を経て、転んでもタダでは起きない精神で活動していきたいところです。リモート参加も大歓迎です、一人でも多くのご出席をお待ちしています。

連絡先 e-mail: ototsudo.con@gmail.com（中島） HP: <https://shinseikai-c.jimdo.com/>

支部長 中島 百合子（19 期・作曲）

奈良支部

奈良支部は現在あまり活動ができておりません。昨年の 8 月の音出し会につづき、諸事情が重なったため 3 月予定の茶話会も中止いたしました。

まずは余裕をもって次に当たろうと、定期演奏会を来年 2 月予定で行うべく検討中です。本年は支部総会も行えるよう調整中です。決定が原稿の期限に間に合わず申し訳ございません。

何かありましたら shinseikai_nara_shibu_info@yahoo.co.jp にご一報ください。

昨今の情勢、はやく平常に戻っていただけますように祈念します。

支部長 菊田 義典（42 期・声楽）

真声会会員のコンクール等受賞者

コンクール等受賞者の掲載に関しては、正確を期するため、大学の教授会で報告されたものを転載しております。真声会事務局への直接の受賞のご連絡は受け付けておりませんので、必ず、音楽学部教務課にご報告くださいますよう、ご理解、ご協力をお願いいたします。

- ◆第25回松方ホール音楽賞
ピアノ部門 入選
中村 梨乃 (音楽学部ピアノ専攻3回生)
- ◆第2回印西国際音楽コンクール
プロフェッショナル部門 第4位
中野 万里子 (昭和54年卒業)
- ◆第9回下田国際音楽コンクール
プロフェッショナル部門 奨励賞
粟辻 泰史 (昭和56年卒業)
- ◆第25回松方ホール音楽賞
ピアノ部門 受賞
竹田 理琴乃 (平成31年修了)
- ◆第76回全日本学生音楽コンクール大阪大会
チェロ部門 大学の部 第2位 全国大会出場
柳澤 明日花 (音楽学部弦楽専攻3回生)
- ◆第76回全日本学生音楽コンクール大阪大会本選
声楽部門 大学の部 第2位 全国大会出場
高田 瑞希 (音楽研究科修士課程 声楽専攻2回生)
- ◆第24回日本演奏家コンクール
ピアノ部門 大学生の部 第3位
上野山 弥新 (音楽学部ピアノ専攻3回生)
- ◆第24回日本演奏家コンクール
ピアノ部門 大学生の部 特別賞
肥塚 菜々花 (音楽学部ピアノ専攻4回生)
- ◆第2回国際声楽コンクール東京
新進声楽家部門 奨励賞
高田 瑞希 (音楽研究科修士課程声楽専攻2回生)
- ◆第4回京都国際音楽コンクール
大学生・一般の部 金賞及び京都市長賞
肥塚 菜々花 (音楽学部ピアノ専攻4回生)
- ◆第18回仙台フルートコンクール
一般部門 第1位
俵 啓乃 (音楽研究科修士課程管・打楽専攻(フルート)1回生)
- ◆第23回大阪国際音楽コンクール
ピアノ部門/Age-U エスポアール賞
稲山 莉乃碧 (音楽学部ピアノ専攻2回生)
- ◆第57回新潟県音楽コンクール
ピアノ部門一般の部 優秀賞
長谷川 悠 (音楽学部ピアノ専攻4回生)
- ◆第91回日本音楽コンクール
フルート部門 本選 第2位 岩谷賞(聴衆賞)
鎌田 邦裕 (平成30年修了)
- ◆兵庫県芸術奨励賞
坂本 彩 (音楽学部音楽学科 非常勤講師)
- ◆第33回日本木管コンクール
フルート部門 第5位
俵 啓乃 (音楽研究科修士課程管・打楽専攻(フルート)1回生)
- ◆佐川吉男音楽賞
和歌山市民オペラ協会 ※音楽学部音楽学科 非常勤講師 清水 徹太郎主演作品に対する贈賞
- ◆玉野市文化・スポーツ顕彰
栄光賞
岡本 伸介 (博士後期課程作曲研究領域 6回生)
- ◆第1回東京国際青少年ピアノコンクール
大学生、一般部門 優秀賞
稲山 莉乃碧 (音楽学部ピアノ専攻2回生)
- ◆第12回かやぶき音楽堂国際ピアノデュオコンクール
本選 C部門 第1位
原田 明里 (音楽学部ピアノ専攻2回生)
- ◆第1回東京国際青少年ピアノコンクール
第4位
稲垣 慈永 (音楽学部ピアノ専攻1回生)
- ◆第1回東京国際管弦声楽コンクール
新進声楽家部門本選 第4位
三好 一輝 (音楽学部声楽専攻 4回生)
- ◆第23回大阪国際音楽コンクール
声楽部門 歌曲コース Age-U 第3位
北村 あおい (音楽学部声楽専攻 4回生)
- ◆第19回東京音楽コンクール
声楽部門 第2位・聴衆賞
花房 英里子 (2012年卒業)
- ◆第40回飯塚新人音楽コンクール
入選第1位
花房 英里子 (2012年卒業)
- ◆第9回あおによし音楽コンクール奈良
プロフェッショナルステージ ディプロマ賞
温品 亜祐 (音楽学部ヴァイオリン専攻2回生)
- ◆第1回YYA国際ピアノコンクール
シニア部門 第3位(第1位なし)
原田 明里 (音楽学部ピアノ専攻2回生)
- ◆第36回京都芸術祭音楽部門
京都芸術祭新人賞
目賀田 侑伽 (音楽研究科修士課程器楽専攻(ピアノ)1回生)
- ◆第3回ひのっ子ピアノコンクール+
第2位
中森 瑞貴 (音楽学部ピアノ専攻4回生)
- ◆第28回フッペル鳥栖ピアノコンクール2022
フッペル部門 第3位
細川 萌絵 (音楽研究科修士課程 器楽専攻(ピアノ)2回生)
- ◆第21回宝塚ベガ学生ピアノコンクール
大学生部門 第2位
植村 芽以 (音楽学部ピアノ専攻1回生)
- ◆第46回ビティナ・ピアノコンペティション
G級全国大会 入選
植村 芽以 (音楽学部ピアノ専攻1回生)
- ◆第9回東京国際ピアノコンクール
大学2年生部門 第5位
生駒 由奈 (音楽学部ピアノ専攻2回生)
- ◆第25回松方ホール音楽賞
音楽賞
藤井 虹太郎 (音楽学部 管・打楽専攻4回生)
- ◆第76回全日本学生音楽コンクール
全国大会 チェロ部門 大学の部 入選
柳澤 明日花 (音楽学部弦楽専攻3回生)
- ◆第32回日本クラシック音楽コンクール
チェロ部門 大学の部 第4位
柳澤 明日花 (音楽学部弦楽専攻3回生)
- ◆第12回クオリア音楽コンクール
ピアノ部門 コンサートティスト部門 第3位
中森 瑞貴 (音楽学部ピアノ専攻4回生)
- ◆第36回京都芸術祭音楽部門
京都芸術祭京都市長賞
梶原 千聖 (2022年卒業)
- ◆バーゼル国際音楽新人オーディション2022
特別賞
四宮 妃望 (音楽学部ピアノ専攻2回生)
- ◆第32回日本クラシック音楽コンクール
全国大会 第4位
奥田 明里 (音楽学部ピアノ専攻3回生)
- ◆令和4年度(第77回)文化庁芸術祭賞
音楽部門 関西参加公演の部新人賞
中嶋 俊晴 (2010年卒業)
- ◆第16回 ベーテン音楽コンクール
自由曲コース 大学・院生Bの部 第1位
安藤 元宏 (音楽研究科修士課程 音楽学専攻1年)

- ◆第 4 回 ラフマニノフ国際ピアノコンクール
JAPAN C 部門 ロシア作品賞
安藤 元宏（音楽研究科修士課程 音楽学専攻 1 年）
- ◆第 24 回 ショパン国際ピアノコンクール in ASIA
コンチェルト B 部門 アジア大会 銅賞
信貴 美乃里（音楽学部音楽学科ピアノ専攻 3 回生）
- ◆2022 年 第 32 回 青山音楽賞
青山賞
酒井 健治（2000 年卒業 / 作曲専攻講師）
- ◆第 32 回 日本クラシック音楽コンクール
全国大会 ピアノ部門 大学女子の部 第 4 位
原田 明里（音楽学部ピアノ専攻 2 回生）
- ◆第 28 回 KOBE 国際音楽コンクール C 部門（大学生・一般）
ピアノ部門 優秀賞・神戸市教育委員会賞
井上 愛弓（音楽学部ピアノ専攻 4 回生）
- ◆第 21 回 宝塚バガ学生ピアノコンクール
大学生部門 第 3 位
大同 理紗（音楽学部ピアノ専攻 1 回生）
- ◆クララ・シューマン国際コンクール
Advanced A カテゴリー 1 位
四宮 妃望（音楽学部ピアノ専攻 2 回生）
- ◆第 24 回 ショパン国際ピアノコンクール in ASIA
全国大会 大学生部門 金賞
山本 陽世（音楽学部ピアノ専攻 2 回生）
- ◆第 4 回 春日井・多治見音楽コンクール
ヴァイオリン部門 大学生の部 金賞
石井 里和（音楽学部ヴァイオリン専攻 4 回生）
- ◆第 16 回 ベーテン音楽コンクール
全国大会 大学・院生 A の部 第 2 位
山之内 真梨（音楽学部ヴァイオリン専攻 4 回生）
- ◆第 28 回 KOBE 国際音楽コンクール C 部門（大学生・一般）
弦楽部門 優秀賞
石畝 馨（音楽学部（コントラバス専攻 3 回生）
- ◆第 2 回 K 夢のある声楽コンクール
プロフェッショナル部門 第 4 位
泉 萌子（2013 年修了）
- ◆第 12 回 クオリア音楽コンクール
大学生の部 第 3 位
山之内 真梨（音楽学部ヴァイオリン専攻 4 回生）
- ◆第 3 回 全日本ピアノコンクール
一般プロ U30 部門 第 2 位
中森 瑞貴（音楽学部ピアノ専攻 4 回生）
- ◆第 4 回 印西国際音楽コンクール
アーティスト部門 第 4 位
稲山 莉乃碧（音楽学部ピアノ専攻 2 回生）
- ◆第 2 回 国際声楽コンクール東京
本選 大学生部門 第 4 位
木村 桜子（音楽学部声楽専攻 3 回生）
- ◆第 32 回 日本クラシック音楽コンクール
大学女子の部 第 4 位
香坂 柚津希（大学院音楽研究科声楽専攻 1 回生）
- ◆第 2 回 トバイアス・マテイ記念ピアノコンクール
大学生部門 Web 本選 第 1 位
稲山 莉乃碧（音楽学部ピアノ専攻 2 回生）
- ◆第 12 回 クオリア音楽コンクー
大学生部門 第 2 位
谷田 翔平（音楽学部ヴァイオリン専攻 1 回生）
- ◆京都市芸術新人賞
森本 瑞生（2014 年卒業 / 管・打楽専攻講師）
- ◆第 52 回 フランス音楽コンクール
第 1 位、フランス総領事賞及びカンセイ・ド・アシ
ヤ文化財団賞受賞
萩野 瑠菜（音楽学部ピアノ専攻 3 回生）
- ◆第 28 回 KOBE 国際音楽コンクール C 部門（大学生・一般）
金管楽器部門 奨励賞・神戸市民文化復興財団賞
近藤 寿奈（音楽学部ホルン専攻 2 回生）
- ◆京都市芸術振興賞
田中 美鈴（1961 年卒業）

後援演奏会情報

♪ Advent Piano Recital ～お話しとともに～

日時：2022 年 12 月 4 日（日）14:30
会場：世良美術館
出演：武田佳美（34 期 Pf）

♪ An Evening of Art Songs ～歌曲のタベ～ 主催ソワレの会

日時：2023 年 1 月 25 日（水）19:00
会場：兵庫県立芸術文化センター神戸女学院小ホール
出演：信多仁子（32 期 Pf）、上木裕子（34 期 Vo）

♪ チャペルコンサート ～ソプラノ・クラリネット・ピアノ～

日時：2023 年 1 月 29 日（日）15:30
会場：日本基督教団 神戸聖愛教会
出演：右近恭子（25 期 Pf）、松原央樹（29 期 Cl）

♪ ヘインズデュオリサイタル（株）ドルチェ楽器主催公演

日時：2023 年 2 月 4 日（土）15:00
会場：ドルチェ・アートホール Osaka
出演：大谷加奈（55 期 Fl）、笹まり恵（54 期 Pf）

♪ 真声会中部支部 音に集う会 Vol.6

日時：2023 年 2 月 5 日（日）15:00
会場：ドルチェアートホール Nagoya
出演：村上栄子（31 期 Comp）、富久田治彦（31 期 Fl）、竹野有紀
（49 期 Pf）、林美咲（61 期、院 32 期 Pf）、井葉野晃暢（65 期 Tp）

♪ 鎌田邦裕フルートリサイタル～笛吹絵巻～

<東京公演>
日時：2023 年 2 月 17 日（金）19:00
会場：ティアラこうとう 小ホール

<山形（庄内）公演>

日時：2023 年 3 月 18 日（土）14:00
会場：庄内町文化創造館 響ホール 大ホール
出演：鎌田邦裕（61 期 Fl）

♪ 小さな夜の音楽会 vol.1 フランス音楽の世界

日時：2023 年 2 月 24 日（金）19:00
会場：アールスペース二条城前 Alba
出演：田村紗矢香（67 期 Vn）

♪ An Afternoon of Art Songs 主催ソワレの会

日時：2023 年 2 月 25 日（土）14:00
会場：豊中市立文化芸術センター小ホール
出演：信多仁子（32 期 Pf）、栗木充代（34 期 Vo）、上木裕子（34 期 Vo）

♪ 今井順子 ソプラノ リサイタル

日時：2023 年 3 月 21 日（火）14:00
会場：ゲーテ・インスティトゥート・ヴィラ鴨川
出演：今井順子（44 期 Sop）、久保千尋（49 期 Pf）

♪ソワレの会 30周年記念コンサート Vol.2

日時:2023年3月22日(水) 19:00

会場:兵庫県立芸術文化センター神戸女学院小ホール

出演:信多仁子(32期Pf)、大原佳美(34期Vo)

♪ブリテンマラソン生誕110年記念歌曲演奏会 Vol.1 主催ソワレの会

日時:2023年3月28日(火) 18:00

会場:豊中市立文化芸術センター小ホール

出演:信多仁子(32期Pf)、栗木充代(34期Vo)、藤美千代(43期Vo)、中西金也(49期Vo)、上木裕子(34期Vo)

♪もぐもぐくいんてつと Vol.2

日時:2023年3月31日(金) 18:30

会場:今福音楽堂

出演:俵啓乃(67期Fl)、大上穂花(67期Ob)、竹谷天音(67期Hr)、児玉桃歌(67期Fg)、大槻夏子(院2Pf)

♪アフター・アワーズ・セッション ～ア・ラ・カルトな1時間～

日時:2023年4月2日(日) 16:00

会場:日本キリスト教団 島之内教会

出演:右近恭子(25期Pf)、日比浩一(29期Vn)、日野俊介(29期Vc)、松原央樹(29期Cl)

♪ブリテンマラソン生誕110年記念歌曲演奏会 Vol.2 主催ソワレの会

日時:2023年4月4日(火) 18:00

会場:豊中市立文化芸術センター小ホール

出演:信多仁子(32期Pf)、栗木充代(34期Vo)、中西金也(49期Vo)

♪ロマン派から20世紀へ～抒情の変遷～

日時:2023年4月8日(土) 14:30

会場:原田の森ギャラリー 401室(兵庫県立美術館王子分館)

出演:志賀俊亮(61期Pf)、秋月舞(61期Pf)

♪An Evening of Art Songs ～歌曲のタベ～ 主催ソワレの会

日時:2023年4月27日(木) 18:30

会場:兵庫県立芸術文化センター神戸女学院小ホール

出演:信多仁子(32期Pf)、栗木充代(34期Vo)、中西金也(49期Vo)、上木裕子(34期Vo)

♪京都市立芸術大学40期卒業生によるPIANO Ensemble Concert (公財) 青山音楽財団助成公演

日時:2023年4月30日(日) 17:00

会場:青山音楽記念館パロックスザール

出演:岡本裕美、柿木朋子、河合桃子、木下垂子、榊原契保、武知朋子、寺見香織、中井由貴子、西尾朋子、吉田秀晃(全て40期Pf)

♪アンサンブル・ならく 第2会演奏会 ならくの祝日

日時:2023年5月2日(火) 19:00

会場:伊丹アイフォニックホール

出演:江戸聖一郎(49期Fl)、岡本真弓(43期Fg)

♪京都市立芸術大学声楽専攻生有志によるFresh Concert

- 声で紡ぐ歌曲とオペラの世界 -

日時:2023年5月4日(木) 14:00

会場:京都市立堀川音楽高等学校音楽ホール

出演:声楽専攻生有志(69期)

♪蜂谷葉子ピアノリサイタル～風薫る。。～

日時:2023年5月17日(水) 19:00

会場:兵庫県立芸術文化センター神戸女学院小ホール

出演:蜂谷葉子(29期Pf)

♪宮國香葉ピアノリサイタル(公財) 青山音楽財団新人助成公演

日時:2023年5月20日(日) 14:00

会場:青山音楽記念館パロックスザール

出演:宮國香葉(67期Pf)

♪俵啓乃フルートリサイタル

日時:2023年5月20日(土) 18:00

会場:京都堀川音楽高等学校 音楽ホール

出演:俵啓乃(67期Fl)、小林紗代子(63期Pf)

♪An Evening of Art Songs ～歌曲のタベ～ 主催ソワレの会

日時:2023年5月24日(水) 19:00

会場:兵庫県立芸術文化センター神戸女学院小ホール

出演:中西金也(49期Vo)

♪フェニックス・エヴォリューション・シリーズ104

西岡沙樹ピアノリサイタルフォーレ、移ろう色彩

日時:2023年5月30日(火) 19:00

会場:ザ・フェニックスホール

出演:西岡沙樹(60期Pf)

♪ゆめいろ音楽会～金曜日の夜に聴きたい！

心おどるクラシック&映画音楽～

日時:2023年6月2日(金) 19:00

会場:豊中市立文化芸術センター小ホール

出演:藤井夢音(64期Pf)、佐々木涼輔(64期Vo)、田中希(64期Va)、村上順子(64期Vn)

♪林田明子ソプラノリサイタル

日時:2023年6月3日(土) 14:00

会場:京都市立京都堀川音楽高等学校 音楽ホール

出演:林田明子(37期Vo)、岩城かおり(50期Pf)

♪刀田大生×後藤里帆デュオリサイタル - 邂逅に寄す -

<姫路公演>

日時:2023年6月11日(日) 14:00

会場:アクリエビめじ(姫路市コンベンションセンター)小ホール

<東京公演>

日時:2023年7月2日(日) 14:00

スタジオ ヴィルトゥオーゾ

出演:刀田大生(60期Cl)

♪Bouquet de musiquet

日時:2023年6月17日(土) 14:00

会場:ガルバホール

出演:高橋知子(32期Pf)、元木いずみ(32期Pf)、福島貴代(33期Vo)

♪音楽の父の肖像 Vol.1 J.S. バッハ フランス組曲全曲演奏会

日時:2023年6月18日(日) 14:00

会場:Le Nuvole(レヌーヴォレ)

出演:古新薫(25期Pf)、岩崎宇紀(27期Pf)、松村佳奈(31期Pf)、山根亜紀(32期Pf) 浅井佳代(37期Pf)

♪石橋美時フルートリサイタル

日時:2023年6月23日(金) 19:00

会場:和光大学ボプリホール鶴川(東京公演)

出演:石橋美時(院2回生Fl)

♪クラシックサマーコンサート

日時:2023年6月24日(土) 14:00

会場:アーツスペース二条城前・アルバ

出演:糸田陽子(42期Vo)、中安容子(42期Vo)、今井順子(44期Vo)、吉田麻佐(44期Vo)、岩城かおり(50期Pf)

♪ソワレの会 30 周年記念コンサート Vol.3

日時：2023 年 6 月 27 日（火）19:00

会場：兵庫県立芸術文化センター神戸女学院小ホール

出演：信多仁子（32 期 Pf）、栗木充代（34 期 Vo）、藤美千代（43 期 Vo）

♪ An Evening of Art Songs ～歌曲の夕べ～ 主催ソワレの会

日時：2023 年 6 月 28 日（水）19:00

会場：豊中市立文化芸術センター小ホール

出演：信多仁子（32 期 Pf）、中西金也（49 期 Vo）、上木裕子（34 期 Vo）

♪安楽みゆきソプラノリサイタル

日時：2023 年 6 月 29 日（木）19:00

会場：兵庫県立芸術文化センター小ホール

出演：右近恭子（25 期 Pf）、松原史樹（29 期 Cl）

♪大江留菜&成毛涼香 デュオコンサート

<京都公演>

日時：2023 年 7 月 2 日（日）17:00

会場：アートスペース二条城前 Alba

<札幌公演>

日時：2023 年 7 月 8 日（土）18:00

会場：豊平館（中島公園内）

出演：大江留菜（66 期 Vo）、成毛涼香（66 期 Pf）

♪武田直子ピアノリサイタル

重なりあう響きの深みへ～ The depth of Sound ～

日時：2023 年 7 月 2 日（日）18:30

会場：あいおいニッセイ同和損保 ザ・フェニックスホール

出演：武田直子（48 期 Pf）

♪池内奏音 個展～ボーダーレス回廊～

（公財）青山音楽財団新人助成公演

日時：2023 年 7 月 23 日（日）19:00

会場：青山音楽記念館バロックザール

出演：池内奏音（65 期 Comp）、山田周（67 期 Vn）、福田彩乃（63 期 Sax）、増永弦（65 期 Pf）、森脇涼（69 期 Cond）、竹岡大志（67 期 Vo）、大西凌（60 期 Vo）、名田卓麻（68 期 Vc）、木崎周（70 期 Vc）、穴井智尋（70 期 Vn）、田中志和（70 期 Vn）

♪石橋美時フルートリサイタル～修士演奏への道～

（公財）青山音楽財団助成公演

日時：2023 年 7 月 7 日（金）19:00

会場：青山音楽記念館バロックザール（京都公演）

出演：石橋美時（院 2 回生 Fl）、水野久美（学部 29 期 / 院 1 期 Pf）

♪ Kammermusikkonzert ～室内楽の午後～

日時：2023 年 7 月 29 日（土）14:00

会場：アートスペース二条城前・Alba/ アルバ

出演：石塚廉（63 期 Cb）、島田優美（63 期 Pf）

♪ふらっといい音（ね）コンサート Vol.1 ～チェロ&ピアノ～

日時：2023 年 7 月 30 日（日）15:00

会場：芦屋仏教会館

出演：大熊勇希（61 期 Vc）、信多仁子（32 期 Pf）

♪ Summer Carnival ～華麗なる饗宴者たち～

日時：2023 年 8 月 6 日（日）13:00

会場：奈良市西部会館市民ホール（学園前ホール）

出演：市川未来（56 期 Pf）、細川萌絵（68 期 Pf）、原田明里（70 期 Pf）

♪佐々由佳里室内楽シリーズ Vol.10

～アンダルシアの風と遙かなる大地の恵み～

日時：2023 年 8 月 9 日（水）19:00

会場：あいおいニッセイ同和損保 ザ・フェニックスホール

出演：佐々由佳里（30 期 Pf）

♪創立記念・コーラスジョイントコンサート「交響する小宇宙」

日時：2023 年 8 月 11 日（金・祝）14:00

会場：住友生命いづみホール

出演：松尾卓郎（45 期 Vo）、池村佳子（45 期 Vc）

♪フルート フルート いのち ～星野みゆきメモリアルコンサート

日時：2023 年 8 月 12 日（土）14:00

会場：代官山教会

出演：中里美沙（44 期 FL）

♪公益社団法人日本演奏連盟 山田康子奨励・助成コンサート

楠本未来 & 山本康寛 & 吉田昌樹 ジョイントリサイタル

<大阪公演>

日時：2023 年 9 月 16 日（土）14:00

会場：東梅田教会

<和歌山公演>

日時：2023 年 9 月 18 日（月）18:00

会場：紀南文化会館 小ホール

出演：楠本未来（49 期 Vo）、吉田昌樹（50 期 Vo）、山本康寛（50 期 Vo）、松浦紫陽（49 期 Pf）

♪歌の花束 vol.9 高須礼子先生 傘寿を記念して

日時：2023 年 9 月 18 日（月・祝）14:00 開演

会場：枚方市総合文化芸術センター 関西医大小ホール

出演：柴田千恵子（18 期 Vo）、上木裕子（34 期 Vo）、飯山友子（41 期 Vo）、松岡万希（45 期 Vo）、進元一美（47 期 Vo）、山守美由紀（48 期 Vo）、中島奈津美（53 期 Vo）、阪口楓（59 期 Vo）、松村璃子（61 期 Vo）、西村早織（63 期 Vo）、増渕弥生（院 18 期 Vo）、中川郁文（院 29 期 Vo）

♪中野万里子ピアノリサイタル（公財）青山財団助成公演

日時：2023 年 9 月 23 日（土・祝）15:00

会場：青山音楽記念館バロックザール

出演：中野万里子（24 期 Pf）

♪サロンで聴くバロック音楽 vol.8 My Favorite collection!

3 人で奏でるドラマチック古楽

日時：2023 年 9 月 24 日（日）14:30

会場：世良美術館

出演：大内山薫（47 期 Vn）

♪栗木充代メゾ・ソプラノリサイタル 対話する時間 Vol.6

「明日へ」

日時：2023 年 9 月 28 日（木）19:00

会場：兵庫県立芸術文化センター神戸女学院小ホール

出演：栗木充代（34 期 Vo）、中島悦子（43 期 Va）

♪石毛明生 ピアノ独演会 2023

日時：2023 年 10 月 6 日（金）18:45

会場：フェニーチェ堺（堺市民芸術文化ホール）小ホール

出演：石毛明生（28 期 Pf）

♪ふらっといい音（ね）コンサート Vol.2 ～朗読と歌とピアノ～

日時：2023 年 10 月 28 日（土）15:00

会場：芦屋仏教会館

出演：中西金也（49 期 Vo）、信多仁子（32 期 Pf）

真声会理事会報告

2022年度 第3回理事会

日時 2022年11月1日(火) 19時～21時

会場 京都聖ヨハネ教会 会議室

出席者

理事：登博美、山本千壽、樋上由紀、杉中博、佐藤敏子、山本毅、
阿部千鶴、中村公俊、小松淳史

議題 1. CD等の寄贈について

2. 杵掛さよならイベント(仮称)について

3. (公財)京都市芸術文化協会からの退会について

4. 真声会70周年記念事業について

5. その他

2022年度 第4回理事会

日時 2023年1月17日(火) 19時～21時

会場 京都聖ヨハネ教会 会議室

出席者

理事：登博美、山本千壽、樋上由紀、杉中博、佐藤敏子、
阿部千鶴、中村公俊、小松淳史

議題 1. 役員選挙の結果報告

2. 真声会賞について

3. 会費未納者の取り扱いについて

4. 真声会70周年記念事業について

5. その他

2022年度 第5回理事会

日時 2023年3月16日(木) 19時～21時

会場 京都聖ヨハネ教会 会議室

出席者

理事：登博美、山本千壽、樋上由紀、杉中博、佐藤敏子、山本毅、
阿部千鶴、中村公俊、小松淳史

監査役：朴実

議題 1. 真声会賞選考

2. 新役員について

3. 事業計画・予算案について

4. 会報76号について

5. 真声会70周年記念事業(2025年)について

6. その他

本会の創立70周年を記念し、2025年4月6日(日)に、
京都コンサートホールにて、ベートーヴェンの交響曲第9
番をメインとした演奏会を開催することが決定しました。演
奏会後にはリーガロイヤルホテルでのパーティも予定してお
ります。是非ご参加ください。

真声会 2023年度 総会のご案内

今年度は、総会及び懇親会を開催いたします。お忙しいこととは存じますが、ぜひご出席いただきますようご案内申し上げます。

記

- 1 日 時 2023年6月11日(日) 総会/午後2時～午後4時 懇親会/午後4時～午後6時
- 2 場 所 「WITH-YOU(ウィズ・ユー)」(寺町通、錦小路上る、西側。阪急河原町駅から徒歩5分)
- 3 総 会 「2023年度真声会総会議案書」及び添付の資料をご参照ください。
- 4 懇親会 多くの同窓生が一同に会して、楽しく懇親交流を深めたいと思います。
出席希望の方は、ハガキでご連絡の上、参加費を当日お支払いください。

- 出欠の返信は、同封の返信用ハガキにて、5月26日(金)までにお願いします。
- ご欠席の場合は、委任状か議決権行使書の提出をお願い致します。
- ご不明な点がございましたら、事務局(080-6185-4494)までお問い合わせください。

訃報 謹んでお悔やみ申し上げます。

- 1期 笠川 典子様(ピアノ)
- 8期 小村 賢治様(クラリネット)
- 20期 隅田 葉子様(ピアノ)
- 22期 安田 勝亮様(クラリネット)
- 31期 星野 みゆき様(フルート)

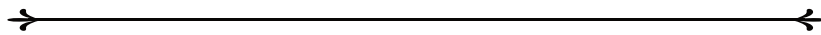
🎵 アートオークション 2023 報告

美術・音楽両同窓会は、移転に向け準備を進める母校を支援するため、京都芸大同窓会アートオークション 2023「Hand On」を 2023 年 1 月 6 日～9 日に開催しました。同窓会会員 319 名（組）による 440 点の多種多様な作品が会場を彩り、大変華やかなオークションとなりました。

真声会からは、出張演奏会をオークションにかけるという初めての試みを行い、2 組の参加をいただきました。吉見真帆さん（62 期 Sop）と梅川侑理恵さん（62 期 Pf）のペアによる「音と星と旅と。～一緒に旅するコンサート～」と、森山靖子さん（56 期 Pf）と西尾安梨沙さん（61 期 Vn）のペアによる「ヴァイオリンとピアノで魅せる幻想の世界」でした。



落札率は 98% で、落札総額は約 2,150 万円でした。もちろん 2 組も含まれております。今回の結果は、今後、さまざまな形で演奏が提供できる可能性を感じた反面、実際の演奏となると、落札者からの数々のリクエストに答える必要があり、2 組にはたくさんのご協力をいただきました。ご尽力に御礼申し上げます。



🎵 「ありがとう沓掛キャンパス」イベントについて

本年 10 月 1 日の京都駅東地区への移転まで、後もう少しです。1980 年 4 月に東山今熊野から、今の沓掛キャンパスに移転して以来 43 年が経過し、創立以来 9 回目の引越しが行われます。歴史を刻んできた沓掛キャンパスに感謝のありがとうを刻むために、温かく見守っていただいた地域住民の皆さまにありがとうを伝えるために、両同窓会が主催して、「ありがとう沓掛キャンパス」を開催します。

ぜひとも、同窓生の皆さまお揃いでご参加お願いいたします。

イベントの概要

日時：2023 年 7 月 1 日（土） 13:00～17:30 雨天決行

会場：沓掛キャンパス（大学会館・食堂・音楽棟）

参加費：無料（但し、飲食は自己負担。飲食物の持ち込みは可）

参加方法：左下の QR コードを読み取り、内容を記載の上お申し込みください。

申込締切り：5 月 31 日（水）

※申込がなくても参加は可能ですが、大体の人数の把握のため、ご協力ください。

イベント内容（今後、随時更新されます。詳しくは、左下 QR コードより、HP をご覧ください）

開会式、校舎巡り、キッチンカー、パジェ音響彫刻、サンバなど

また、当日、京都市立芸術大学の移転と文化庁の京都移転を記念した「Kyoto Music Caravan 2023」の一環の演奏会が 14 時より芸術大学の講堂で開かれます（整理券配布は 12 時半から）。新任のピアノ科専任講師の高木竜馬氏による室内楽が予定されています。詳しくは京都コンサートホールのホームページをご覧ください。



申込フォーム・イベント内容
ホームページ



Kyoto music caravan
ホームページ



事務局からのお知らせ



●演奏会後援申請書について

- ・申請書は、FAX かメール (shinsei@kcua.ac.jp) でお送りください。
- ・お急ぎの場合は、メールでの申請の方がより速く回答可能です。(真声会 HP が開きます)
- ・後援申請書は、ホームページ (<http://shinseikai-kcua.net>) からダウンロード出来ます。
- ・メールでの申請の場合は、プリントアウトした申請書に自筆で記入の上、スキャンしてお送りください。(PDF ファイルへのソフトを使った書き込みの場合、文字化けなどのエラーがよく起こりますので、ご遠慮ください。)
- ・終身会費を収めていただいていることが後援の条件となります。
- ・真声会のロゴを使用して頂けます。

●ナクソス・ミュージック・ライブラリーの利用申し込みについて

終身会費を納入済みの方は、ナクソス・ミュージック・ライブラリーが無料でお使いいただけます。ナクソス・ミュージック・ライブラリーは、クラシック音楽(約190万曲)に特化された、有料定額制(一般人登録費、月額2,035円)のインターネット音楽配信サービスです。申込書は、ホームページからダウンロードできます。

※申し込み済みに関わらず、事務局よりIDとパスワードの返事がない場合はご連絡ください。

●住所変更の届出について

住所や、氏名に変更があった場合には、ホームページから手続きをしてください。

●宛名シールをご確認下さい

会員番号(0から始まる5桁)や、会費納入の状況を、宛名のシールに記載しております。ご確認ください。会費納入の状況が違う場合は、ご連絡ください。

●会員証の発行について

会員証がお手元に届いてない方や、再発行を希望される方は、切手を貼った返信用封筒を、事務局までお送りください。最新の特典は、ホームページでご確認の上、商品購入の際に、店頭にてお確かめください。



京都市立芸術大学音楽学部同窓会
Kyoto City University of Arts Alumni Association

発行所

真声会 京都市立芸術大学音楽学部内
〒610-1197 京都市西京区大枝沓掛町13番地の6
TEL: 080-6185-4494 FAX: 075-320-2520
e-mail: shinsei@kcua.ac.jp

HP: <http://www.shinseikai-kcua.net>

Facebook: <https://www.facebook.com/KCUA.AlumniAssociation.Shinseikai>

郵便振替口座 01070-4-16071 真声会